

The background of the cover features a blue-toned city skyline reflected in water, overlaid with a network of glowing blue lines and nodes. In the foreground, there are two hands shaking in a firm grip, and another pair of hands typing on a laptop keyboard. The overall aesthetic is professional and tech-oriented.

**Systemsoft**

BUSINESS REPORT 2018

**第37期 株主通信**

2017年10月1日 ▶ 2018年9月30日

**株式会社 システムソフト**

証券コード:7527



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2018年9月30日をもって、第37期を終了いたしましたので、事業の概況等をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2018年12月

代表取締役社長 吉尾 春樹

## 新しいテクノロジー分野と既存 継続して取り組むとともに事業

**Q** 当期(2018年9月期)の決算について教えてください。

**A** 当社が属する情報サービス産業におきましては、モバイル、ソーシャルネットワーク、ビッグデータ、クラウド等の第3のプラットフォームが世の中を席卷する中、政府が推奨する第4次産業革命が進展しております。具体的には、AI、IoT、RPA (Robotic Process Automation)、ブロックチェーンといった、新たなテクノロジーの活用やシェアリングエコノミー等の潮流が生じ、各企業はそれぞれ「デジタルネイティブ企業」へと変革する取り組みを加速しており、また、そのための技術的な支援やサービスの提供が求められております。

### 経営理念

当社は、優れたIT技術により、お客様の問題解決に真摯に取り組み、お客様、そして社会に必要とされる会社として貢献いたします。

IT技術により効率的に情報を収集、整理、発信し、社会を構成するひとりひとりが情報を十分に活用していくことができる環境を実現したいと願っております。

当社の従業員は、常に新しいことに積極的に取り組み、お客様、自己、会社(株主様)、社会への大きな責任を常に自覚し、優れた企業人として振舞う人でありたいと願っております。

## のシステムソリューション分野について、 相互のシナジー効果の最大化を推し進めます。

このような状況で、当社は、システム開発分野において、当社が得意とする技術要素・ノウハウを活かした案件の受注を進め、賃貸不動産業界をはじめとするシステム開発案件を受注するほか、新規事業としてRPAソリューションの提供をスタートいたしました。また、内部の変革として、部門別損益管理を徹底し、利益率の低い案件からの撤退、仕掛案件の整理、一層のコスト低減等、より筋肉質な組織と事業構造への整備を進めてまいりました。今後デジタルトランスフォーメーションを支援するITサプライヤー企業グループへと成長することを目指し、その土台づくりに努めてきたものです。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は2,475百万円、営業損失は79百万円となりました。

また、経常損失は155百万円、東京本社の移転に伴う本社移転費用、固定資産除却損及び減損損失計47百万円等の特別損失57百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は263百万円となりました。

**\*デジタルネイティブ企業**：デジタルトランスフォーメーションを経営の根幹に置き、仕事のあらゆる場面でIT・デジタル技術を最大限に活用し事業推進している企業。

**\*デジタルトランスフォーメーション (DX, X DIGITAL)**：企業が、全ての仕事のやり方をIT・デジタル技術で定義し直すことによって、大幅な効率化・社内の変革を推し進め、新しい製品、サービス、ビジネスモデルを提供しつつ競争優位性を得ていくこと。

**Q** 来期(2019年9月期)の見通しについてはいかがですか。

**A** 景気は緩やかな回復基調が続いているものの、製造業における原材料価格上昇への懸念、米国通商政策への警戒感、人材不足等、今後の先行き不透明感は払拭されておりません。企業のIT投資全般におきましては、慎重な姿勢は継続されるものの、先進的な企業においては、デジタルトランスフォーメーション(DX, X DIGITAL)領域への投資が進むと予測しております。

当社といたしましては、新たなテクノロジーの活用やシェアリングエコノミー等の潮流が生じ各企業が「デジタルネイティブ企業」へと変革する取り組みが進むこれからの環境の変化をビジネスチャンスと捉え、子会社 株式会社DigiIT(デジット)の営業を開始し、RPAソリューションやWEBコンサルティングといったDX領域のほか、新たなサービスの提供を加速させてまいります。

これらにより、次期の業績予想は、売上高2,600百万円、営業利益150百万円、経常利益120百万円、親会社株主に帰属する当期純利益60百万円を見込んでおります。

Q 新しいロゴのコンセプトについてお聞かせください。

A 来年のシステムソフト創立40周年を迎えるにあたり、親しまれてきたロゴイメージを刷新いたしました。

経営理念にある「お客様の問題解決に真摯に取り組む」姿勢、信頼・誠実を表現したロゴマークです。当社が提供するシステムサービスは、企業やビジネスの土台となるものであり、シンプルなものにも、揺らぎのない力強さをイメージしております。

Q 株主の皆様へメッセージをお願いいたします。

A 当社は、企業価値の継続的向上を図るとともに、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題の一つとして位置付けております。

株主の皆様に対する利益配分につきましては、株主重視の基本政策に基づき、将来にわたる安定配当の維持と企業体質の強化ならびに今後の事業展開に必要な内部留保の確保等を念頭に、利益水準、財政状態および配当性向等を総合的に考慮した上で実施していく方針であります。

本方針に基づき、当期の期末配当は1株当たり2円といたしました。



当社グループは、デジタルトランスフォーメーションを支援するITサプライヤーとしてお客様にご満足いただけるシステムやサービスを提供し、収益の拡大と更なる成長を目指してまいります。

株主の皆様にはこれまで以上のご理解とご支援を賜りますよう、今後とも宜しく願い申し上げます。

# 子会社にてAI、IoT、RPA、ブロックチェーンなど X DIGITAL領域を一層の注力

当社は、本年11月に、当社 子会社である  
「株式会社DigiIT」を本格始動いたしました。

当社は、これまで先進的に取り組んできたRPAソリューションやWebコンサルティングといったデジタルトランスフォーメーション(DX、X DIGITAL)領域のほか、主要顧客と提携し、そのシェアリングエコノミー事業・プラットフォーム事業とのシナジーを活かした、

新たなサービスの提供を加速させることを目的として子会社の営業を開始いたしました。

また、当社は、同社を交えたこれらの企業活動を通じて、未来のIT企業に求められる企業価値創造や風土の醸成を行い、将来にわたりマーケットから求められる存在力を有する、魅力ある企業グループとなることを目指しております。

## 会社概要

社名	株式会社DigiIT
資本	株式会社システムソフト100%子会社
営業開始	2018年11月
所在地	東京都千代田区大手町二丁目6番1号
代表取締役	久井康史

## ●事業戦略

### DepSの推進 DigiIT efficiency and productivity Service

AI、IoT、RPA、ブロックチェーンなどを活用し、生産性の改善、人的ミスの撲滅、労働時間の是正、属人化の排除、人手不足の解消など仕事の効率性と生産性をサポートするDigiITのデジタルテクノロジーソリューションサービス

## RPAソリューションの提供

当社は、働き方改革の実現、人材の最適配置につながるよう、RPAロボットの開発による業務自動化の取り組みを2017年より進めてまいりました。

RPAとは、認知技術(ルールエンジン・機械学習・人工知能等)を活用した、主にホワイトカラー業務の効率化・自動化の取り組みです。

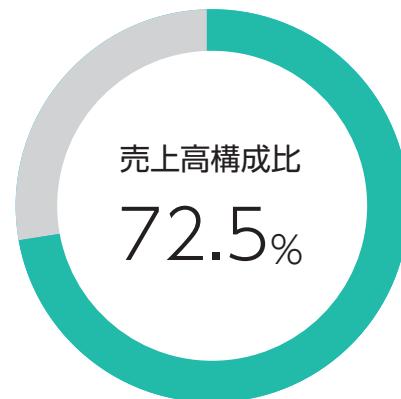
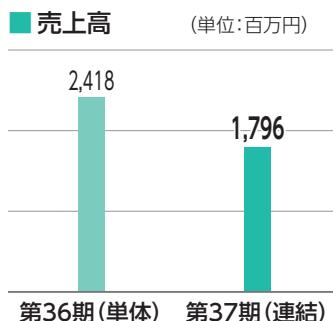
RPAソリューションは、システム投資をするには規模やボリュームが小さい、標準化しづらい煩雑な事務作業が多い、コア人材の事務負担を軽減したいが1人当たりの業務に占めるウェイトは小さい、といった課題を解決しやすい手法であり、企業規模を問わずさまざまな組織で導入いただくメリットがあります。

今後も当社は、ホワイトカラー業務の生産性向上および人的資源の有効活用推進の支援に努めるべく、各企業様へのRPA導入支援、RPAソリューションの提供を積極的に展開してまいります。

## システムソリューション事業

売上高 1,796百万円

セグメント損失 31百万円



### 当期の業績について

当連結会計年度におきましては、生損保分野および地図データ分野において案件の受注が順調に進み利益を確保できた一方で、見込んでいた不動産分野の複数案件について、最終的にお客様と条件が折り合わず、コンサルティング・開発業務を中止・失注することとなり、利益面が大幅に悪化いたしました。また、賃貸不動産情報サイト運営分野においては当初見込んだ利益率を確保できなかったことから、システムソリューション事業全体の利益率が低下いたしました。

これらにより、システムソリューション事業の売上高は1,796百万円、セグメント損失は31百万円となりました。

### ● 事業内容

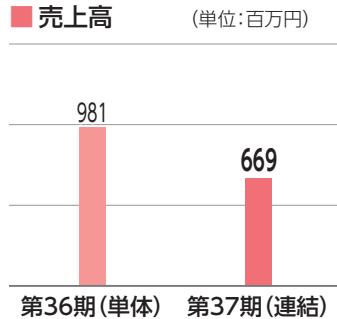
Web技術をベースとするシステム開発に強みを持ち、不動産分野、情報通信分野、生損保分野、教育分野等のお客様に対して長年にわたってシステム開発およびソリューションサービスを提供することに加え、賃貸不動産情報サイトの運営を行っております。



## マーケティング事業

売上高 669百万円

セグメント利益 30百万円



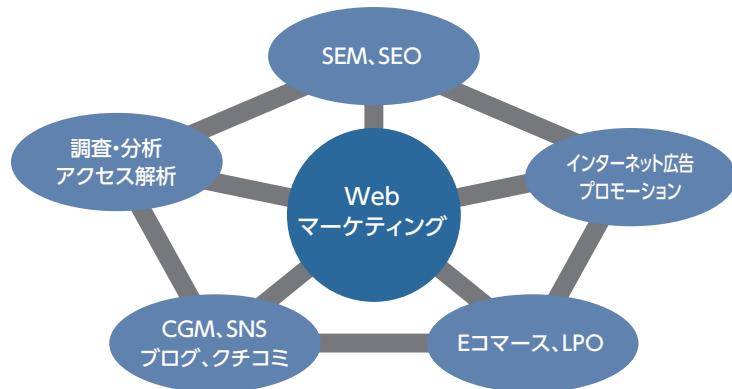
### 当期の業績について

当連結会計年度におきましては、マーケティングに対する手法の多様化や他社との競争を踏まえて、事業体制の再構築を進め高い利益率の案件を確保することに重点を置いて取り組んできた結果、一時下振れしたものの、期中に一定の整理が付き、利益面が改善いたしました。

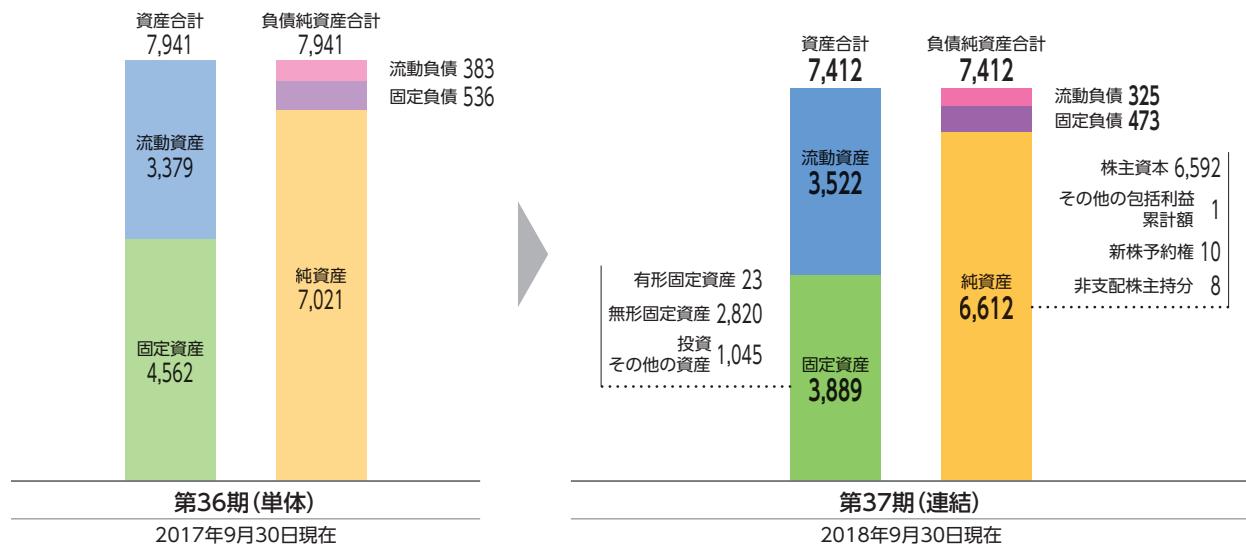
これらにより、マーケティング事業の売上高は669百万円、セグメント利益は30百万円となりました。

### ● 事業内容

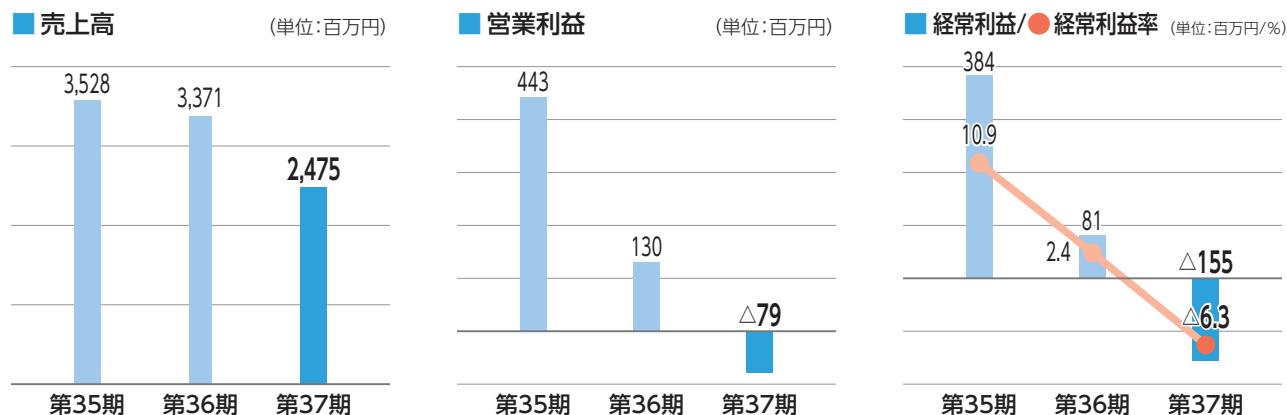
日本におけるWebマーケティングサービス開始初期から培ってきた技術・ノウハウを活かし、大手企業を中心としたお客様に対して、Webマーケティングにおけるコンサルティングを中心に、そこから派生するシステム開発を含むソリューションサービスの提供を行っております。また、RPAソリューションの提供を開始しております。



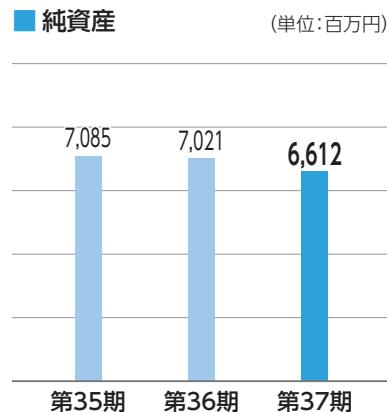
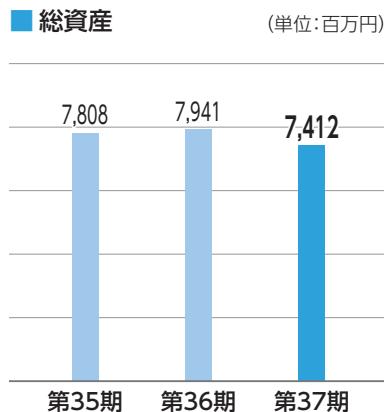
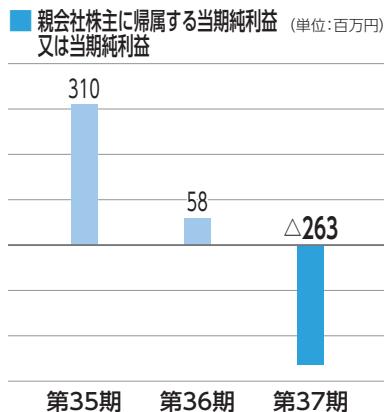
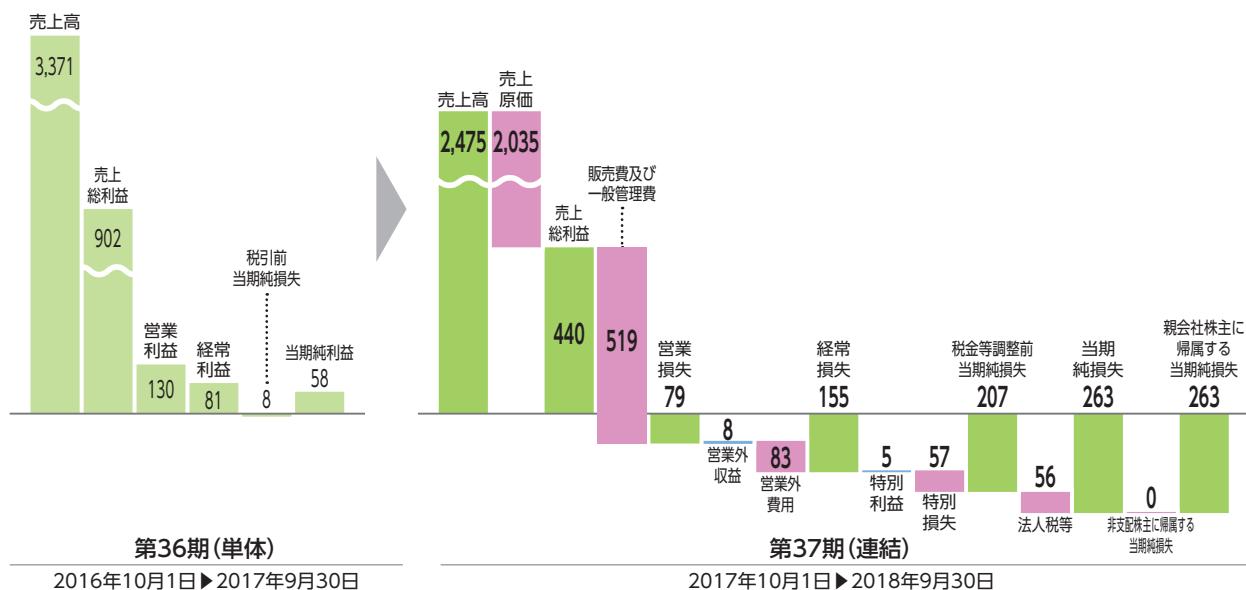
## 資産の状況 (単位:百万円)



## 財務ハイライト



## 損益の状況 (単位:百万円)



(注) 第37期より連結財務諸表を作成しているため、第36期以前の数値については単体となっております。

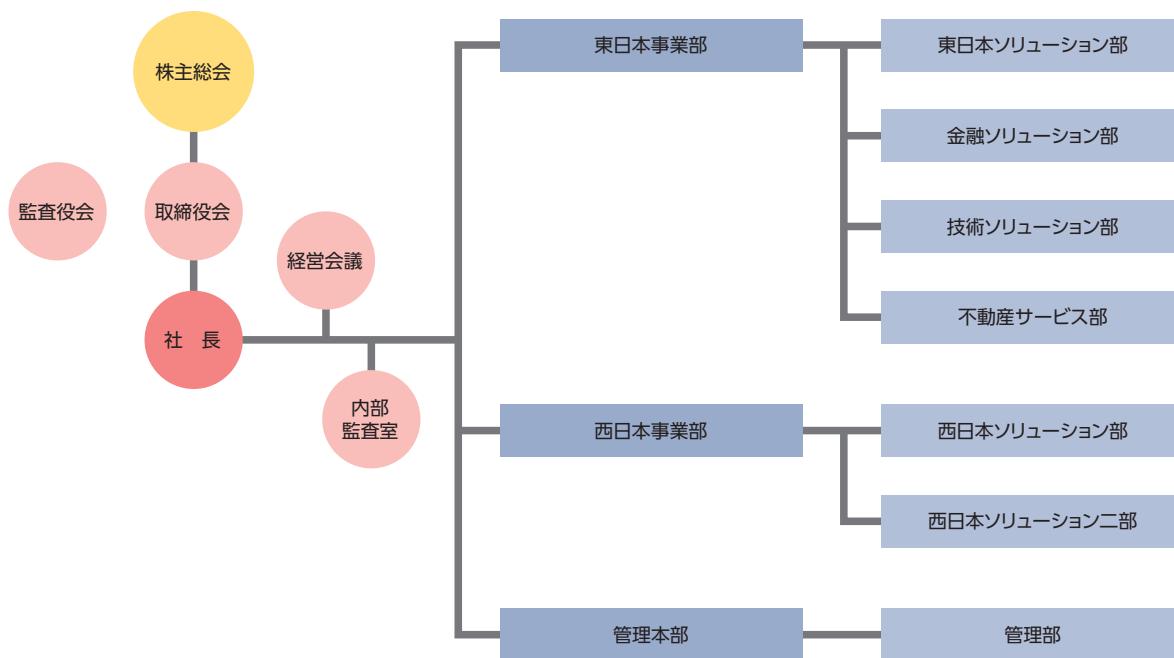
## ● 会社の概要

商号	株式会社システムソフト
設立	1979年9月
代表者の氏名	吉尾 春樹
決算期	9月30日
従業員数	120名(単体・2018年9月30日現在)
主要な事業所	東京本社(東京都千代田区) 福岡本社(福岡市中央区)

## ● 役員 (2018年12月14日現在)

代表取締役社長 吉尾 春樹	
取締役 石川 雅浩	常勤監査役 平山 美智子
取締役 大村 浩次	監査役 六川 浩明
取締役 高橋 裕次郎	監査役 島田 敏雄
取締役 浅子 正明	

## ● 組織図 (2018年12月14日現在)



● 株式の状況

発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式総数	67,974,560株
株主数	10,332名

● 大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
Apaman Network 株式会社	23,854,700	35.10
丸山三千夫	2,110,000	3.10
丸山光子	960,000	1.41
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	939,300	1.38
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口5)	902,700	1.32
三菱UFJ モルガン・スタンレー 証券株式会社	885,000	1.30
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	707,300	1.04
藤井英樹	600,000	0.88
桑原光正	552,000	0.81
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口1)	541,400	0.79

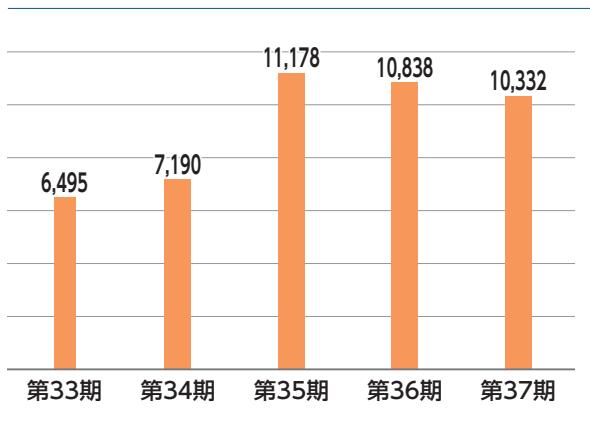
(注) 持株比率は自己株式(31,719株)を控除し、小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。

● 株式分布状況



金融機関	4,515,500株 ( 6.64%)
証券会社	2,426,857株 ( 3.57%)
その他の法人	24,457,870株 (35.98%)
外国法人等	585,715株 ( 0.86%)
個人・その他	35,956,899株 (52.90%)
自己名義	31,719株 ( 0.05%)

● 株主数の推移 (単位:名)



# 株主メモ

## STOCK INFORMATION

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月開催
基準日	定時株主総会 毎年9月30日 期末配当金 毎年9月30日 中間配当金 毎年3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 【郵便物送付先】 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 【電話照会先】 ☎ 0120-782-031 【インターネットホームページURL】 <a href="https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 <a href="https://www.systemsoft.co.jp/ir/index.shtml">https://www.systemsoft.co.jp/ir/index.shtml</a> やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部（証券コード7527）
単元株式数	100株

### ●株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社に口座を開設されている株主様は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

### ●未払配当金の支払について

お受け取りがお済みでない配当金等に関するお手続きにつきましては、左記の電話照会先にご連絡ください。

### ●特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

### ●ウェブサイトのご案内

当社ウェブサイトのIR情報のページに決算情報など最新の情報を配信しております。ぜひご利用ください。

<https://www.systemsoft.co.jp>

システムソフト

🔍 検索

# Systemsoft

株式会社 システムソフト

東京本社

〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番1号

福岡本社

〒810-8665 福岡市中央区天神一丁目12番1号  
電話 092-732-1515(代表)